

認知症 進行度	元気	認知症の疑い	認知症（初期） 誰かの見守りがあれば日常生活は自立	認知症（中期） 日常生活を送るには支援や介護が必要	認知症（重度） 常に専門医療や介護が必要		
	日常生活は自立						
本人の 希望	例 楽しく生活したい 「 」	例 ヘルパーにお手伝いしてほしい 「 」	例 お金の管理を誰かにお願いしたい 「 」	例 サービスを受けながら家で過ごしたい 「 」	例 施設に入って専門的な支援を受けたい 「 」		
家族の 希望	例 元気で生活してほしい 「 」	例 少しなら手伝えるところがある 「 」	例 サービスの利用について相談したい 「 」	例 少し自分の時間が欲しい 「 」	例 できる限り自宅で介護をしていきたい 「 」		
症状 行動	<input type="checkbox"/> 地域活動に参加する <input type="checkbox"/> 介護予防に取り組む <input type="checkbox"/> いきかたノートの活用 <input type="checkbox"/> かかりつけ医と話す	<input type="checkbox"/> 月日・曜日を正確に言うことができない <input type="checkbox"/> 外出が面倒になった <input type="checkbox"/> もの忘れが増えるが自覚もある （人からも指摘されるようになる） <input type="checkbox"/> 会話の中で「あれ」「それ」などの代名詞がよく出てくる <input type="checkbox"/> 運転すると車に傷をつけることが増えた	<input type="checkbox"/> 同じことを何度も尋ねるようになる <input type="checkbox"/> 新しいことが覚えられない <input type="checkbox"/> やる気が出ず不安が強い <input type="checkbox"/> 物や人の名前が出てこない <input type="checkbox"/> 約束を忘れ、困ることがある <input type="checkbox"/> 料理の段取りが難しくなる <input type="checkbox"/> 買い物や金銭管理、薬の管理などが難しくなる <input type="checkbox"/> その場をとりつくろふ言動がある	<input type="checkbox"/> 「物を盗られた」などの発言をする <input type="checkbox"/> 着替えやトイレなど身の回りのことが難しい <input type="checkbox"/> 季節にあわない服を着る <input type="checkbox"/> 顔を洗わない、入浴を嫌がるなど身だしなみを気にしない <input type="checkbox"/> 慣れた場所でも道に迷う <input type="checkbox"/> もの忘れの自覚がない <input type="checkbox"/> 怒りっぽく興奮しやすい	<input type="checkbox"/> 誰かの助けがないと日常生活を送ることが難しい <input type="checkbox"/> 意思の疎通が難しくなる <input type="checkbox"/> 表情が乏しくなる <input type="checkbox"/> 家族の顔を忘れる <input type="checkbox"/> 使い慣れた道具がわからない <input type="checkbox"/> 食事の仕方がわからなくなる <input type="checkbox"/> 尿意・便意が乏しくなる <input type="checkbox"/> 車いすやベッド上での生活が長くなる		
家族の 心構え 対応の ポイント	☆本人と今後の病状や生活の見通しについて話しましょう ◎気になることをまとめる（いつから、困っている症状など具体的に） ◎定期的に健診を受ける ◎かかりつけ医やかかりつけ薬局をもつ ◎高血圧や糖尿病など病気の治療を継続する ◎本人が楽しみにしている趣味などはできる限り続ける ◎地域のサロンや活動に参加を促す、一緒に参加する ◎本人も家族も不安を感じたら病院や地域包括支援センターへ相談する		☆認知症やサービスの情報を得ることで、本人や家族の不安の軽減につなげましょう ◎全てを手伝わず、本人ができないことのみをサポートする 役割を持つことが大切 ◎思いを共有したり対応について相談する（知人や家族の会など） ◎必要に応じて介護保険サービス利用を検討する		☆様々な症状が現れて疲れを感じたら、担当ケアマネージャーに相談しましょう ◎家族の負担が大きくなるため、抱え込まずサービスを増やすなど相談する ◎家族自身が自分の健康を維持し、気分転換も行う ◎周囲に認知症であることを伝えておくことで、気持ちが楽になることもあります		
主な サービスの 例	相談	地域包括支援センター：唐津市地域包括支援センター(以下地域包括支援センター)			在宅介護支援センター：各地区の在宅介護支援センター		
		介護経験のつどい：認知症と家族の会唐津支部			認知症カフェ		
		認知症初期集中支援：地域包括支援センター			居宅介護支援事業所：各居宅介護支援事業所		
	予防	高齢者サロン や 老人クラブ や 公民館活動：各地区の公民館					
		介護予防教室（100歳体操・ますます元気づくり教室）：地域包括支援センター					
	生活支援	市の福祉サービス（配食サービス・軽度生活援助事業・緊急通報装置貸与事業など）：唐津市高齢者支援課					
		高齢者見守りネットワーク事業：地域包括支援センター					
		地域住民グループ支援事業：地域包括支援センター			その他地域での見守り（民生委員・自治会・認知症サポーターなど）		
		地域ボランティア：唐津市社会福祉協議会			安心サポート：唐津市社会福祉協議会 成年後見制度：地域包括支援センター 無料法律相談：唐津市市民課市民相談窓口		
	医療	かかりつけ医 かかりつけ薬局 かかりつけ歯科医：現在受診している病院や薬局					
認知症疾患医療センター・専門医：主に脳神経外科や脳神経内科、精神科などの診療科目がある病院							
訪問看護：現在受診している病院							
介護	訪問介護（ホームヘルプ）・通所介護（デイサービス）・通所リハビリ（デイケア）・ショートステイ など：地域包括支援センター または 担当ケアマネージャー						
	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） など：各対象施設						
住まい	住環境の整備・福祉用具の利用 など：地域包括支援センター または 担当ケアマネージャー						
	ケアハウス・有料老人ホーム など：各対象施設						

※介護保険サービスについては、“みんなの介護保険 利用ガイドブック”に詳しい記載があります。